

感染対策衛生用品の寄附について



株式会社シナジー 代表取締役 下地勝男様より (6/1・6/9受入)

- 大人用マスク 計4,000枚
- 子供用マスク 計3,000枚 合計7,000枚
- 手指消毒用ハンドジェル(500ml) 24本



真謝にある古民家「仲原家」を コワーキングスペースとして運用を開始します。

コピー機あります。(有料・1枚10円～)

久米島 島ぐらしガイド

検索



真謝にある古民家「仲原家」をコワーキングスペースとして運用を開始します。

Wi-Fi環境も整った静かな空間で、パソコン作業はいかがでしょう？

ビデオ通話アプリによる「オンライン帰省」も行っております。遠く離れたご親族の方と、お話しませんか？



※事前予約制となります。ご利用希望の際は「島ぐらしコンシェルジュ」までお問い合わせください。

※外勤等によりスタッフ不在の場合があります。ご来館前にHP上のカレンダーを確認頂くか、もしくはお電話にてお問合せください。

※「コワーキング」とは、事務所スペース、会議室、打ち合わせスペースなどを共有しながら独立した仕事を行う共働ワークスタイルを指します。町内中高校生もオンライン学習等にご利用ください。



開館時間 火曜日～土曜日

9:00～12:00 13:00～16:00

※水曜日は午後のみ開館となります。

休館日 日・月曜日／祝日

利用料金

量 間	1回(1時間)	町民 400円
		町民以外 600円
コワーキングスペース	1人(1時間)	町民 100円
		町民以外 200円

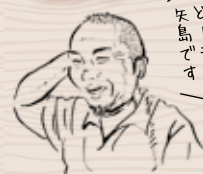
お問い合わせ先 字真謝20番地 コワーキングスペース仲原家「島ぐらしコンシェルジュ」 ☎894-6488 info@shimagurashi.net

こんにちは、島コンの矢島です。「移住体験住宅」「民泊住宅」とお送りして参りましたが、今月は、他地域で事業実施を計画されている「高齢者向けシェアハウス」での活用方法を紹介します。

「高齢者向けシェアハウス」とは、国土交通省が、高齢者が亡くなるまで住むことの出来るような賃貸住宅の供給を増加させるべく、制度化した「終身建物賃貸借事業」と「シェアハウス」を合わせた仕組みで、入居者同士コミュニケーションをとりながら、高齢者単身・夫婦世帯等が、終身にわたり安心して賃貸住宅に居住できる仕組みとなります。久米島町でも、高齢化は年々進んでおり、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる住まいの確保ができるという点において、実は有効な活用方法ではないかと考えています。もう少し説明させて頂くと、まず、サービス付き高齢者向け住宅の入居費用は



高齢者向け
シェアハウスでの
活用方法



平均約14万円(月額)が必要で、年金収入だけでは賄えませんが、シェアハウスであれば、1人あたりの賃料は少なく抑えることが可能となります。

また、所有者のメリットとして、「終身建物賃貸借事業」の認可を受けると、改修費用の補助や税制の優遇を受けることも可能で、家を守りながら安定収入も見込むことができます。

この方法であれば、空き家を利用することも、空き家になる予定の建物を未然に活用することも可能です。全国の空き家問題と高齢化社会を解消策のひとつとして、久米島町が「高齢者向けシェアハウス」の先進地域になって欲しいと思います。興味のある方は是非一度、島コンまでご連絡ください。

今月の空き家活用相談は、7月11日、25日となります。

お問い合わせ先 場所：仲原家（真謝20番地） ☎894-6488 info@shimagurashi.net